

議会に対する意見&回答

【総務文教常任委員会関係】

Q 2 : 子どもの安全確保。

A : 安全・安心メール、地域安全パトロール事業、保育園・幼稚園、小学校児童への防犯出前講座開催、交通指導車による町内巡回、交通指導員配置、交通安全施設設置などの対策を実施しています。さらなる安全対策を調査研究し提言します。

Q 3 : 西邑楽地区全体(3町)の潜在的な活力源を再構築、次世代の伝承が急務。

A : 西邑楽3町連携による各種事業を展開しています。引き続き、広域で連携を図りながら元気な地域づくりを推進していきます。

Q 7 : 20~40年先の大泉町をどう考えているのか?人口・産業・教育についての方向は?現在は何のような方向にしているのか?

A : 人口・産業 : 人口4万人が維持され、地域活動が活発で住む人もきらきらと輝き、訪れる人も元気になるまち。

教育 : 人間社会の理想を追求しつつ、生涯学習を根底に据え心身ともに健康で創造力豊かな人間の形成を目指し、未来を展望した教育の振興。

※現在、人口は微増、移住者増に向けイベントなどに参加し積極的な情報発信をしています。産業については製造品出荷額が増加で推移しています。

教育については基本理念に則り教育振興を進めています。

Q 10 : 小・中学生の学力が県でも最低と言われておりますが、多国籍の人が影響していると思われる。その施策と対応は(50~100年先の見通しは)。心配です。

A : 外国籍児童・生徒の影響は把握できませんが、全国学力・学習状況調査の結果によると町内小・中学校の学力はほぼ全国並みです。本町では、外国籍児童・生徒の日本語教育や学力向上対策推進事業に力を入れていますので、その結果を注視しながら、さらなる学力向上対策を調査研究し提言していきます。

Q 12 : 各地視察後の進行は。

A : 常任委員会で研修視察した案件に関しては予算要望に反映し執行部へ提言しています。一例をあげれば、子どもの居場所づくり事業として「放課後子ども教室」などがすでにスタートしています。

Q 1 6 : 外国人籍の町民皆さんとコミュニティーをどうするのか。区の活動に
どういう方法で巻き込んで行くのか非常に難しい。(カルチャーの各々に
長い伝統があり、日常生活の中での対応の難しさがある)

A : 日本の習慣やルール、マナーを身につけてもらうために多文化共生懇談会
の開催や文化の通訳登録事業を進め、日本語が十分でない外国人とのパイプ
役を育成しています。また、地域コミュニティとしては子どもたちの繋がりを
を有効活用し、親と親を繋げる取り組みを進めます。

Q 2 0 : 消防団をはじめとした防災関連の充実に力を入れてほしい。

A : 防災行政無線の充実や感震ブレーカー設置補助金、防災フェア開催、自主
防災組織への支援などを行っていますが、さらに充実した施策を提言します。

Q 2 1 : 多文化共生は大泉町の原点であり、議会でも真剣に取り組んでほしい。
日本語が使えなくても不自由をしない大泉町となっているとのテレビ報
道がありますが、どのように評価すべきか迷っています。日本語を使わ
ない町民が増加することに危機感を抱いています。

A : 多文化共生の本質は互いを認め合い、協力し合うことにあります。日本語
がしゃべれない方には日本語を学ぶ機会の提供もしています。

Q 2 2 : 行政区の人口格差が大きくなっています。行政区の再編成の検討をお
願いします。min50世帯弱、max1500世帯は異常。町は地域の課題
ととらえてますが…。

A : 人口の偏りは認識しています。未来を見据えながら再編の議論をしていく
べき案件であると考えます。

Q 2 8 : 消防団員の確保。町外の団員も入団しており現状は出勤できない。数
ぞろえのみと思われる。

A : H30.6.1 現在、団員は 170/173 名で充足率 98.26%。充足率は高位で推移し
ています。時代の変化に伴い就業体系の変化もあり時間帯により出勤しづら
くなっているのは確かです。国の動向なども見極めながら、また、先進地の
取り組みなども調査研究しながら取り組んでいきます。

Q 2 9 : 女性消防隊、少年・少女消防団を推進してほしい。

A : 常任委員会からの予算要望に入れさせていただいている案件になります。
しっかりと推進していきます。

Q 3 4 : 防犯カメラを各所に設置願いたい。

A : 5 5 基設置（H 2 9 年度末現在）、年間 1 0 台分の予算を確保。警察や小中学校と連携し設置しています。犯罪抑止力にも繋がることから設置増の推進に努めます。

【民生産業常任委員会関係】

Q 1 : いつも大変お世話になり、まことに有り難うございます。今後とも何卒よろしくお願い致します。高齢化です。老人クラブを宜しく願います。

A : 高齢化が進む中、今後ますます「元気な高齢者」の活躍が期待されているところでもあります。老人クラブも含めた、団体・個人へのさらなるご支援を調査・研究します。

Q 4 : 南北アクセス（新橋架ける）は早期実現必須。田畑を緑の野菜でうめつくし、どの地域より一早く東海京葉地区に発送する。刀水橋のパンク、利根大堰の機能不全、新橋こそこの地区の大動脈たり得る。大泉町率先のろしを挙げて。

A : 利根川新橋を架ける会にて早期実現するように取り組んでいます。埼玉県側議員（熊谷市）へのアプローチの強化を図っていきます。国・群馬県・埼玉県、近隣自治体、地域推進団体と連携して早期実現に向けてアプローチの強化を図っていきます。

Q 5 : ヤマダ電機の南付近の川の中、冬の期間に清掃しないと相当な費用がかかるのでは。

A : セカ村用水路改修事業終了後に町が維持管理を行っています。29年度は冬季に草刈りを実施しました。30年度は濁水時期に草刈りと共に堆積土の除去を実施する予定と、担当課より説明を受けています。

Q 6 : ゴミ等が県内最下位という記事が出ております。燃えるゴミ置き場等は大変な量です。もう少し取り組んでもらえると、よりきれいな町になるのではないのでしょうか。リサイクルのための修理等をし、安く販売する等何かアイデアや視察をもして提案できるのではないかと思います。

A : リサイクルは、日常的な分別収集の他、古着、古布、廃食用油の回収を実施しており、また太田市外三町で運営しているリサイクルプラザでは、回収物の中から家具類や自転車を補修、再生して提供しています。また、本年4月より始まりましたが、剪定枝等を木質チップとして再生し火力発電の燃料として利用するなど、リサイクル率のさらなる向上に取り組んでいます。

議会としては、本年4月に近隣地域のごみ処理の状況について現地調査を行いました。今後太田市の新焼却施設との連携も視野に入れて、ごみの減量策についても調査・研究したいと思います。

Q 1 2 : 各地視察後の進行は

A : 金沢版ネウボラや、子育て支援事業等について学んできました。今後とも

子育て世代の方の負担を軽減すべく、視察内容を参考にしながら町に合う事業を提言していきたいと思えます。

23：現状ゴミ集積所について困っていることがあります、特に燃えるゴミの日に燃えないゴミが出されている。また、カラス防護ネットを掛けないで出していく人もいる為、カラス・猫等が残飯を入ったゴミ袋を破り周辺の道路にゴミを散乱させており近隣の住民は大変迷惑しています。

- ・提案①：燃えるゴミステーション全箇所に監視カメラの設置し、違反者を特定出来るようにする。同時に条例で罰則を設ける。お金がかかる事なので、何ヵ年か計画で取り組む必要がある。
- ・提案②：別紙の資料のような収集方法とする。アパートの場合は条例をつくり、アパート単位でボックス型の燃えるゴミ容器を設置させる。これらもお金がかかる事であるが先進地もあるので調査研究課題として視察してみてもらいたい（議会として）。

上記の案により、ゴミ散乱等による環境問題の解決、又は、少しでも良い環境となるようご尽力をいただきたいと思えます（住んで良かった大泉町になるよう）。

A：①燃えるごみステーションの監視カメラ設置ですが、町内に約900箇所あり、すべてに監視カメラを設置するとなると管理やプライバシー保護の問題等があります。近隣の市町の状況をみながら調査・研究を行いたいと思えます。

②アパート専用のごみ収集ボックス設置ですが、アパートの開発者が事前に地元の生活環境委員と協議を行い、必要に応じて開発者がごみ収集ボックス等を設置および管理をしています。

Q24：寄木戸地区の住環境の整備。

A：寄木戸地区は昭和46年に区画整理推進協議会が設立され、その後準備委員会が立ち上がりましたが、地下下落、少子化等による住宅需要が見込めないとの判断により、平成14年に解散し現在に至っており、現状では土地区画整理は難しい状況であります。

狹隘道路等の住環境の整備につきましては、課題として認識しています。必要度に応じて提言を行っていきたく思っています。

Q26：子ども達の格差が大きいのので、困る人がスポーツ・塾などに行けない。

A：経済的な困難を抱える家庭の児童・生徒に対する支援に取り組んでおり、具体的には金銭面での支援として、就学奨励金の支給や、ひとり親家庭への児童扶養手当の支給も行っています。

また、学習面の支援として長期休みや試験前など、必要に応じて補習を行

う他不登校対策としてスマイル教室や適応指導教室を実施しています。

学校以外でも、各児童館における学童保育で、学習サポート事業に取り組んでいます。また、生活に困窮した保護者に対しての就労支援、県事業では、中学生を対象とした生活・学習支援事業の支援にも取り組んでいます。

Q 2 7 : 大泉町民の方は、館林厚生病院より太田方面の病院へかかる方が多いと伺っております。病院行政は太田へシフトするのでしょうか。また、蜂谷病院の今後の展開は。

A : 町民の皆様が安心して医療を受けられるよう、医療対策事業に取り組んでいますが、町の医療体制全般にかかわりますので、慎重に調査をして、今後も町民の皆様が必要とする医療資源が確保できるように努めます。

Q 3 0 : 大泉町版ネウボラを推進してほしい。

A : 今般、「児童福祉法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第63号)において、市町村は妊産婦乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行うことにより、地域の特性に応じた妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を構築することとされました。

児童福祉部門と連携しながら、大泉町の親子にとって利用しやすい施設、事業について調査・研究を進めます。

Q 3 2 : 育児・教育(いじめ・自殺を出さない)最重要課題のひとつ。

A : 母子保健サービスを提供する機会に保護者や乳幼児の情報収集を行い、適切なサービスをコーディネートするほか、関係機関と随時情報交換し、連携を図りながら、保護者や乳幼児の見守り支援を行っています。

学校教育では、町や学校で作成している「いじめ防止基本方針」に則り、未然防止や早期発見・早期解決を図れるよう、いじめ防止教育を推進しています。また、大泉町教育研究所での電話相談や来所相談等、いつでも相談できるように周知を図っています。

また、自殺防止対策を推進するための「大泉町自殺対策基本計画」を現在作成しているところです。相談体制も充実し、周知も図っていくように提言していきます。

Q 3 3 : 障害者自立支援対策の推進・充実を図ることにに関して、個人的に関心があるので教えてください。町では自立支援施策として、具体的に基幹型支援・計画的支援の事業所は設置されているのか。町で直営・委託なのか、何箇所か設けられているようでしたら事業所を知りたいのと、未の場合今後設けてほしい。

A : 町内には基幹相談支援センターはありませんが、イシノ療護園相談支援事

業所とありす相談支援事業所に委託をして、保健福祉総合センター内に大泉町障害者相談支援センターを設置しています。

計画相談を行うことができる特定相談事業所は、町内にイシノ療護園相談支援事業所とうさぎ&かめれおん相談支援事業所の2ヶ所があります。

Q38：寄木戸地区の道路整備。都市計画の地域バランス。消防車が入れないような道路で生活者をどのように守って頂けるのか問いたい。

A：寄木戸地区は昭和46年に区画整理推進協議会が設立され、その後準備委員会が立ち上がりましたが、地下下落、少子化等による住宅需要が見込めないと判断により、平成14年に解散し現在に至っており、現状では土地区画整理は難しい状況であります。

狭隘道路等の住環境の整備につきましては、課題として認識しています。必要度に応じて調査・研究を行っていきたいと考えています。

なお、30年度は西中学校北側付近の道路拡幅工事を実施する予定です。

Q40：老朽危険空き家への除却工事費補助は、危険建物を増やすことになると考えますが、対策は考えているのでしょうか。

A：この補助金は、老朽化により倒壊等の恐れのある空き家の除却を促進し、近隣などに被害が出ないように、地域の住環境の向上を図るための補助金です。空き家の所有者は、自らの責任において適性に管理する事が求められています。そのため、町では危険な空き家になる前に、所有者に必要な助言を行い、危険建物の発生の未然防止に努めています。

【議会運営委員会関係】

Q 8 : 回を重ねる毎に内容が良くなって行くように感じます。また各議員が自信をもって報告している様子に安心感を覚えます。

A : (評価)

※Q 9 : 大泉に嫁に来て初めて(50年) こうゆう議会の話を聞いたり議会も見ました。テレビでは見ますが、議員さんの活躍がわかりやすかったです。いっそうの活躍を願います。

A : (評価)

Q 1 1 : 議会活動内容は分かりましたが、結論を聞きたかった。

A : (要望)

Q 1 2 : 各地視察後の進行は。

A : 議会運営委員会としては、議会改革や議員の資質向上など議会運営の改善に役立てています。特に、自由討議ルール・政策検討会要綱・開かれた議会のあり方について具体化しました。

Q 1 3 : 政務活動費一括前払い制度を改めて、必要の都度、申請書に基づいて請求する制度が望ましい。最高限度額以内(150,000円)で。

A : (要望・意見)

Q 1 5 : 時間の限度上、各委員会の取り組み詳細と各委員会の考えを、別日に各委員会ごとに報告会を実施してもらいたい。更に、追求された報告を聞きたい。

A : (要望)

※Q 1 8 : 受身の議会でなく、攻めの議会を期待している。

A : (意見)

Q 2 5 : 本日は、ありがとうございました。素晴らしい議会報告会でした。大泉議会様を見習ってしっかり報告会が出来るよう頑張ります。

A : (評価)

Q 3 1 : 本日の女性参加者が少ない。女性議員が少ないからか。

A : (評価)

Q 3 5 : 今後も議会活動について大いに期待いたします。

A : (評価)

Q 3 6 : 参加させていただき議会にどのような組織があるか良くわかりました。

また、委員会の主な活動について説明をいただき、勉強になりました。

A : (評価)

Q 3 9 : 出前報告会の実施、出前意見交換会の実施。

A : (要望)

【議会広報編集委員会関係】

Q 1 4 : 議会だよりの作成に関する予算は決められているのか。上限無しの無制限なのか。予算の計上内で作成することが望ましい。

A : 予算は決まっており、毎回 1 2 ページ構成で 1 部 2 4 . 6 円で作成しています。定例会の内容や一般質問の人数によってページ構成が変わります。また、臨時号の発行等によっても構成が変わります。

【議会全体（議長）関係】

Q 1 7 : 良い事が書かれてあり、質問が出来る事が書かれていない。

A : 次回の報告会で内容を検討していきます。

Q 1 9 : 地域行事に積極的に参加する議員を期待します。

A : 議員として、地域の色々な諸行事に積極的に参加するのは、町議会議員として 1 つの役割だと思います。

Q 3 7 : 入口受付での行政区と名前的一致しない方がいるのでは。架空人物と判断されるのではないのでしょうか。

A : 受付名簿の内容は確認しておりません。より多くの方に参加していただき、主催者として大変うれしく思います。